

サービスエリアの駐車場で

伊勢原市立成瀬中学校

三年

こてら
小寺

まかな
真叶

「福祉とはなんだろう」と私は中学一年生の頃から三年間福祉社作文を書いてきましたがいまだに本質がつかめません。辞書には「人々が安心してくらせるかんきょう」とあります。すが、私にはどうもしくりこないので。福祉について考えるきっかけがこの作文くらいしかないからでしょうか。でも、今年で福

祉社作文を書くのも最後になるので、この人々が安心してくらせるかんきょうを、今年の夏の出来事をつなげて考えてみようと思います。

私たち家族はお盆に母方の実家に帰省しました。毎年車で帰っています。私の父は十年程前に病気で倒れ、今は車いす生活を送っています。母方の実家は遠いので、父は連れていかずに、母、姉、私の三人で帰省しています。父が車いすなので、我が家の車には車いすマ

17がついています。

話は戻って、車で実家に向かっているときに、朝ご飯がてら、とあるサービスエリアに行きました。そのサービスエリアは、景色が綺麗なことで有名で、特にその時間は日の出から朝焼けぐらいの時間で、人がたくさんいました。駐車場もほとんど満タンでした。だけど、車いすマークが書かれた駐車場だけは空いてました。私たちは車いすマークの駐車場のそばの駐車場が偶然空いたので、そこにとめて、朝ご飯を食べに行きました。

三十分後くらいに帰ってくる時、さっきまで空いてた車いすマークの駐車場に、一台車が入ってくるのを見ました。でも、その車には車いすマークがついていませんでした。私は「ん？」とその時思ったけれど、ただつけてないだけかな？と思いました。でも、駐車した後、人がでてきて、その人は一人でスマホをいじりながらお店に入っていました。車の中に残っている人はいなそうでした。

エンジンも消していっ、たし、これは完全に私の主観で、すこし差別っぽくなってしまうんです。その人は障がい者には見えなかつたんです。だから余計不思議に思っていました。ました。人は多かつたけれど、出入りも多かつたので、空きを少し探せばよかつたのではないのか？と思いました。

父と一緒に家族四人でおでかけしたときに車いすマークの駐車場を利用したんですが、他の駐車場に比べて横幅が広く感じました。

横幅が広いと、やっぱり車いすを車からおろす時、のせる時とかに、行動の面でも気持ちの面でも余裕ができるので、その後のおでかけとかも楽しくすごせました。やっぱりすぐ横とかに車があると私は圧を感じてしまします。だからこそ、身も心にも余裕ができる。車いすマークのついた駐車場は、障がいのある人へゆずってほしいです。もちろん見た目だけだと分からない人もいると思います。ただし、それでも、駐車場が混んでいるから、とい

て、本当に必要としてゐる人への場所を、奪
てほしくないです。

「人々が安心してくらせるかんきょう」と
いうものは、こういうことなのでしょいか。
や、ぱりしくくりこないです。私が三年間福
社作文を書いて、私なりの福祉とは何か考え
てみました。私の考えた福祉とは、「一人で
も多くの人が幸せだと思えるかんきょう」で
す。今回私が述べたことは、私の主観です。
まちがっていることもあるかもしれませぬ。

そうだとしても、この作文が「一人でも多く
が幸せだと思えるかんきょう」と、私が目指
す福祉の理想に近づくきっかけとなればうれ
しいです。